

### 都市計画マスタープラン

#### まちづくりの課題

##### 自然災害に対する安全性の確保

- 土木関連施設の整備・保全や流域治水等による自然災害発生抑制
- 災害リスクを踏まえた開発や立地の誘導など計画的土地利用による災害被害の回避・低減
- 避難路・避難場所や緊急輸送路等の交通ネットワークなど、災害時の迅速な救援・救助活動や復旧 復興を支える基盤の強化

#### まちづくりの目標

##### 自然災害に強くしなやかを持った、安全・安心なまちをつくりたい

- 自然災害が頻発化・激甚化する中、災害の発生防止や被害低減に向けた、河川整備や土砂災害防止対策、流域治水を含めた総合的対策により災害に強いまちづくりを推進します。
- 災害ハザードエリアにおける開発抑制や災害リスクの低いエリアへの立地誘導などにより、災害被害を回避することができるまちづくりを推進します。
- 避難所をはじめとした防災拠点施設や緊急輸送路の整備、市内の道路ネットワークの充実、災害時の高速道路及びSA、PA、IC、スマートIC等との連携により、災害時の避難や救援活動等を支えるまちづくりを推進します。

### 立地適正化計画

#### 立地の適正化により解決すべき課題

##### 災害リスクに対して安全・安心な住環境の確保

- 洪水浸水想定区域の見直しに伴い浸水想定区域が拡大する中、郡川周辺では近年人口が増加傾向にあり、また大上戸川沿いでは既にまとまった住宅地が形成
- 今後も自然災害が頻発・激甚化することが懸念される中で、被害の発生をできる限り回避・抑制するための対策や、災害が発生しても、都市機能を低下させないための対策が重要

⇒市民に安全・安心な住環境を提供するため、河川整備などのハード対策だけでなく、災害リスクが高いエリアへの市街地拡大を抑制し、できるだけ安全なエリアへの居住の誘導や、居住エリア内における適切な防災・減災対策の実施

#### 防災指針

##### 地区ごとの防災上の課題

- 浸水時、建物上層階へ垂直避難が困難な住民等の安全確保
- 要配慮者利用施設における円滑で迅速な避難確保
- 浸水や土砂災害により道路途絶の恐れ
- 洪水時に家屋倒壊の恐れ など

##### 防災まちづくりの将来像

行政・市民・事業者等が一体となって、総合的な防災・減災対策を推し進め、安全・安心な地域社会を共に構築する、連携・協働の防災まちづくり

取組：河川改修(県)、要配慮者利用施設の避難確保計画等の作成支援(市)、避難路の整備・確保(市)、迅速な避難情報の伝達(市) など

### 上位・関連計画

#### 基本目標 第5次大村市総合計画・後期基本計画

- 風水害や地震をはじめとする自然災害などから、尊い生命と貴重な財産を守るため、ハード・ソフト両面での防災対策や消防・救急体制の充実に努めます

#### 施策の方針

- 水害防止対策や土砂災害防止対策など防災機能の強化を推進するとともに、地域社会が一体となった防災体制の充実に図り、災害に強いまちづくりを進めます

#### 基本目標 大村市国土強靱化地域計画

- ①人命の保護を最大限図ること。
- ②市の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること。
- ③市民の財産及び公共施設に係る被害の最小化を図ること。
- ④ 迅速な復旧復興を図ること。

#### 基本的な方針 ※一部抜粋

- ハード対策とソフト対策を組み合わせ、効果的に取組を推進
- 「自助」、「共助」及び「公助」を組み合わせ、官と民が適切に連携及び役割分担
- 関係者の合意形成を図りつつ、土地の合理的利用を促進

#### 各段階における基本理念 大村市地域防災計画・大村市水防計画

- 災害予防 ※一部抜粋
- ソフト対策を可能な限りすすめ、ハード・ソフトを組み合わせ一体的に災害対策を推進

#### 災害応急対策

- 生命及び身体の安全を守ることを最優先に、人材・物資等災害応急対策に必要な資材を適切に配分
- 高齢者、障がい者その他の特に配慮を要する者(要配慮者)に配慮するなど、被災者の事情から生じる多様なニーズに対応

#### 災害復旧・復興

- 速やかに施設を復旧、被災者に対して適切な援護を行う